

科 目 名	数学科教育法Ⅳ				
配 当 学 年	3 年	必修・選択	選択	CAP制	対象外
授 業 の 種 類	講義	単 位 数	2 単 位	授業回数	15
授 業 担 当 者	今井 順一		単位認定責任者	今井 順一	
実務経験の有無	無				
実務経験のある教員名および授業の関連内容					
授業科目の概要	ICT活用による授業の理論と実践を結びつけるための授業の在り方を学ぶ。理論と実践の融合には多くの課題がある。教育現場（授業・教室）は分単位で変化しており、これに対応するさまざまなアプローチの検討を行う。また課題研究としてICT活用による授業のデザイン案の作成とその評価を行う。具体的には作成したデジタル教材を活用した模擬授業を行い、通常の授業との比較等を含めた評価を行う。				
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. インストラクショナルデザインについて詳細な説明ができる。 2. 発展的な教材開発の手法を説明できる。 3. 発展的なデジタル教材を作成することができる。 4. さまざまなICT機器を活用を想定したデジタル教材を作成することができる。 5. 作成したデジタル教材を用いた効果的な模擬授業を行うことができる。 				
学修成果評価項目（%）および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	%			
	専門知識	50 %	模擬授業（25）・教材開発及び指導案（25）		
	倫理観	10 %	模擬授業（5）・教材開発及び指導案（5）		
	主体性	10 %	模擬授業（5）・教材開発及び指導案（5）		
	論理性	10 %	模擬授業（5）・教材開発及び指導案（5）		
	国際感覚	%			
	協調性	%			
	創造力	10 %	模擬授業（5）・教材開発及び指導案（5）		
責任感	10 %	模擬授業（5）・教材開発及び指導案（5）			
授業の展開					
1.	授業研究の新しい視点と方法				
2.	授業理論の構築				
3.	授業づくりの手がかり				
4.	授業理解				
5.	授業計画				
6.	授業実施				
7.	授業効果				
8.	授業分析				
9.	授業評価				
10.	カリキュラム研究				
11.	模擬授業①分析				
12.	模擬授業②設計				
13.	模擬授業③開発				
14.	課模擬授業④実施				
15.	模擬授業⑤評価				

授業外学修について	1. 教材開発および授業設計のスキル獲得のための予習・復習課題を課す 2. 授業デザインに基づく学習指導案の作成を課す				
教科書	無限と連続（岩波新書）・遠山 啓 著・岩波書店 中学・高等学校新学習指導要領解説数学編・文部科学省				
参考文献	必要に応じて授業時に適宜指示する				
試験等の実施	定期試験	その他のテスト	課題・レポート	発表・プレゼンテーション	取組状況等
	×	×	○	○	×
成績評価の割合	0 %	0 %	50 %	50 %	0 %
成績評価の基準	本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）				
試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項					

（数学科教育法Ⅳ）